ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

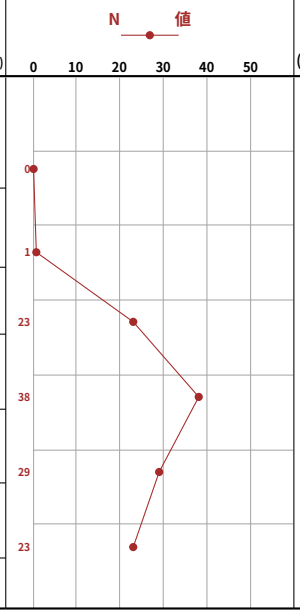
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	No.4	調査位置				北　緯	36 ° 21 ' 09.0000 "
発注機関	栃木県栃木土木事務所			調査期間	2007-03-13 ～ 2007-03-13	東　経	139 ° 50 ' 28.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	43.44 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	6.45 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1	42.29	1.15	1.15		盛土（粘性土）(C)	暗茶褐			上部20cmは砕石 粘性土主体で礫を混入する		
	41.69	0.60	1.75		腐植土 (Pt)	黒褐		非常に軟らかい	含水分多い　粘性弱い 腐植物を多く混入する		03/13 2.15
2	41.09	0.60	2.35		粘土 (CH)	淡褐灰			含水分多い　粘性やや強い 腐植物(所々多く混入)、軽石混入		
	40.54	0.55	2.90		砂混じり粘土 (CH-S)	淡褐灰			含水分多い　粘性やや強い 所々、φ2～5mmの軽石混入		
3					砂礫 (GS)	暗茶灰～暗緑灰～暗灰	中ぐらい		含水分多い 礫はφ5～30mm程度の亜円礫主体 上部は粘土分を混入する 4.00m付近より暗緑灰色となる マトリックスは粗砂主体 6.00m付近より暗灰色となりシルトの薄層を挟む		
4											
5											
6	36.99	3.55	6.45								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N 値
1.00					
1.50	00／50			00／50	0
2.15		0／20	1／20	1／40	1
2.55					
3.15	8	7	8	23／30	23
3.45					
4.15	11	12	15	38／30	38
4.45					
5.15	9	9	11	29／30	29
5.45					
6.15	9	8	6	23／30	23
6.45					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						03/13